

IKEDA

2025



池田校区 第一次
ふくしのまちづくり計画

世代を超え、
今こそひとつになろう！

池田！



2029



たてばちやいちぢょうや
立場茶屋銀杏屋
北九州市指定文化財(史跡)
福岡県指定有形文化財(建造物)

ごあいさつ

池田校区社会福祉協議会は、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、地域の関係団体と連携して子どもから高齢者まで幅広く、各事業に取り組んできました。

なかでも、地域ぐるみの活動として、「ふれあいネットワーク活動」は、1996年（平成8年）の池田校区社会福祉協議会設立と同時に、実施しています。民生委員・児童委員と福祉協力員と一緒に高齢者を中心とした見守り、助け合いを行い、高齢者の孤独死や引きこもりを未然に防ぐことを目標としています。

この度、「小地域福祉活動計画」を策定するにあたり、関係者による協議を何度も重ねて活動の実践計画がまとまり、当校区の指針が確立されました。

当校区の高齢化率は32.4%で、八幡西区の平均を若干上回り、一人暮らしの高齢者が増えています。

この現状を踏まえ、事業の推進には各地域団体との連携が極めて重要であり、地域全体で目標の達成に努めていきます。

結びに、この計画の策定にあたり、関係者の皆様の絶大なご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

令和7(2025)年3月



池田校区社会福祉協議会
会長 酒井 正治

も く じ

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 池田校区の現状と課題	2
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	6
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	7
1 策定委員会委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、池田校区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や民間団体が将来の見通しをもって計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、池田校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 池田校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

2 計画の期間

令和7(2025)年度～令和11(2029)年度までの5ヵ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

池田校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、池田校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、池田校区小地域福祉活動計画を策定しました。



第4回策定委員会出席メンバー

第2章 池田校区の現状と課題

1 地域の特性

	平成6(1994)年	平成21(2009)年	令和6年(2024)年
世帯数	3,122世帯	3,380世帯	3,888世帯
人口	8,246人	7,565人	7,482人
14歳以下	1,242人(15.1%)	917人(12.1%)	1,029人(13.8%)
15歳～64歳	5,542人(67.2%)	4,399人(58.1%)	4,025人(53.8%)
65歳以上	1,461人(17.7%)	2,240人(29.6%)	2,424人(32.4%)
市民センター	池田市民センター	小 学 校	池田小学校
地域包括支援センター	八幡西6	中 学 校	千代中学校 木屋瀬中学校

池田校区は、八幡西区の南西部に位置しています。長崎街道、黒崎宿と木屋瀬宿の間の石坂には、「立場茶屋銀杏屋」があります。また、神社やお寺も多くあり、歴史を感じられる校区です。

交通の便は、校区の東側に国道211号線と都市高速が通っており、馬場山ICがあります。公共交通機関は西鉄バスが走っていますが、黒崎・直方方面以外は便が少ないため、自家用車がないと不便な面があります。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

● 地域のつながりが弱くなっている

今、働き方の変化や生活様式の多様化、一人暮らし世帯の増加などにより、地域のつながりが弱くなっています。

昔と比べて、高齢者のゴミ出し、買い物、外出など、ふだんの暮らしの中のちょっとしたことを頼めるようなご近所付き合いが難しくなっています。

● 地域の行事に参加する子どもたちが減っている

地域のいろいろな人たちと関わる子どもが減少しています。

お祭りやイベントに参加する子どもの数を増やすことで、保護者世代の住民にもふるさととなる地域への愛着や関心を持ってもらう必要があります。

● 地域活動の担い手の確保が難しくなっている

長年地域の様々な行事や生活をする上での困りごとの解決に尽力してきた活動者が高齢となり、今まで通りの行事や活動を継続することが困難になっています。特に若い世代の活動者を増やすための仕組みづくりを進めていく必要があります。



第3章 計画体系

池田校区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、取組を定めました。

1 基本理念

「世代を超え、今こそひとつになろう！池田！」

2 基本目標

(1) 市民センター、行事を通して楽しく交流しよう

市民センターを拠点とした取組みや、地域の歴史や文化を感じる様々な行事などを通じて、様々な世代の住民が集い、交流できるようにします。

地域団体をはじめ、地域にある福祉施設や事業所、学校等と連携し、**住民同士声をかけ合っ**て、**気軽に参加できるような企画・広報活動**に取組みます。

(2) みんなで見守り 安心・安全なまちにしよう

住民同士がお互いに見守り合う仕組みづくりを進めることで、住民一人ひとりが孤立することのないような地域をつくります。

お互いに見守り・見守られる“ささえ合い”の仕組みづくりであることを多くの住民に理解してもらい、**できる人ができることを少しずつ**分担しながら、みんなが安心して暮らせるまちにします。

(3) ちいきを支える仲間を増やそう

魅力ある地域行事や安心な暮らしを守るための活動をこれからも続けていけるよう、子どもから大人までみんなでアイデアを出し合っ、**自分にもできることがあれば協力したいという人や、楽しそうだからやってみたい**という仲間を増やします。



第2回策定委員会：校区の強みや課題などを話し合いました。

3 実施項目（体系図）

基本理念 世代を超え、 今こそひとつになろう！ 池田！	基本目標	主な取組
	市民センター、 行事を通して 楽しく交流しよう	<ul style="list-style-type: none"> 健康クリーンウォーキング【健推】 池田ふれあいフェスティバル【小学校】 ふれあいレクリエーション【まち協】 立場茶屋銀杏屋【立場茶屋銀杏屋管理運営委員会】 レクリエーション大会【馬場山東自治区会】 GG（グラウンドゴルフ）大会【まち協、老ク】 八幡南花火大会【八幡南部地域】 ほたる祭り【ほたる祭り実行委員会】 吉祥寺藤まつり【吉祥寺藤まつり実行委員会】 市民センターの草刈、花植え【社協】 ラジオ体操【まち協】 ふれあい昼食交流会【まち協】 敬老会【各自治区会・各町内会】
	安全なまちにしよう	<ul style="list-style-type: none"> 昔のあそび体験（小学1年生）【市学校協働事業】 火おこし体験（小学3年生）【市学校協働事業】 朝のあいさつ運動「さわやかマンデー」【小PTA】 ふれあい広場（高齢者地域交流支援通所事業）【市社協】 年末防火、防犯パトロール【各自治区会】 通学路見守り【生活安全P隊】 夜間パトロール【まち協】 親子こども広場【まち協】 学童運営委員会【社協】 連絡調整会議【社協】
	ちいきを支える 仲間を増やそう	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座【市セ】 ウェルクラブ（倫尚園と児童との交流）【社協】 福祉協力員の養成、研修【社協】 子ども会廃品回収【馬場山自治区会】 公園の草取り【公園愛護会】 世代間交流事業【市セ・社協】

【凡例】

（社協）…池田校区社会福祉協議会 （まち協）…池田まちづくり協議会 （健推）…健康づくり推進員の会
 （市セ）…池田市民センター （市社協）…北九州市社会福祉協議会 （老ク）…老人クラブ連合会
 （生活安全P隊）…生活安全パトロール隊 （市学校協働事業）…北九州市地域学校協働活動事業
 （小PTA）…小学校PTA



4 重点実施項目

重点実施項目		次世代につながる活動者の確保						
1 課題背景及び地域の現状								
<ul style="list-style-type: none"> ● 昔に比べると、地域住民同士のつながりが弱まっている。 ● 転入してくる世帯は多いが、若い世代にもっと地域への愛着や関心を持ってもらいたい。 ● お祭りやイベント、ウェルクラブ活動等に取り組んでいるが、参加する子どもたちが減っている。 ● 地域の活動者が高齢化している。また固定化もしており、活動者の負担が大きくなっている。 								
2 活動の方針・目標								
<ul style="list-style-type: none"> ● SNS や広報紙等を活用して、地域活動を広報し、多くの参加を呼びかける。 ● ウェルクラブ活動では、今ある取組みを継続しながら、多世代の方が楽しみながら参加できるようなプログラムを企画、検討する。 ● 魅力ある地域活動を行うことで、新たな“仲間”を増やしていく。 								
3 段階的な取組みの年次計画								
取組み内容		連携する機関	R7	R8	R9	R10	R11	備考
組織の体制づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・まち協 ・自治区会 ・市民センター ・地域団体 ・ボランティア 		検討		実施		<ul style="list-style-type: none"> ・活動者の負担感が少なくなるような体制づくり
広報活動	インスタやLINEなどのSNSと「社協だより」の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター ・図書館 ・郵便局 	準備		実施			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報をより多くの方に届ける ・活動の参加を呼びかける
	池田ふれあいフェスティバルで広報	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 ・中学校 						<ul style="list-style-type: none"> ・「社協だより」に“活動者募集”を掲載
	事業を掲載したチラシの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・まち協 ・自治区会 						<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校で配付
ウェルクラブ活動の充実	活動内容の見直しと工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・倫尚園 ・市民センター ・小学校 						<ul style="list-style-type: none"> ・実施プログラム ・小学校の保護者にアンケート調査実施
	参加の呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 ・市民センター ・学童 						<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設と児童との交流 ・多世代でのランチづくりや夏休みの作品づくり等
夜間パトロールを通して“仲間づくり”		<ul style="list-style-type: none"> ・まち協 ・小学校 PTA 						<ul style="list-style-type: none"> ・新たな活動者の発掘



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- (1) 校区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- (3) 計画書概要版の配布などを通じた校区住民への周知 等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、池田校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

池田校区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料 【池田校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 池田校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿 (令和7年3月31日現在)

	氏名	所属団体	役職	備考
1	酒井正治	池田校区社会福祉協議会	会長	
2	太農正吉	池田校区社会福祉協議会	副会長	
3	堀江日出男	池田校区社会福祉協議会	事務局長	
4	片桐良寛	池田校区社会福祉協議会	事務局次長	
5	永野浩	池田まちづくり協議会	会長	
6	浦部倫太	池田まちづくり協議会	事務局長	
7	岩崎克幸	馬場山東自治区会	会長	
8	橋本文夫	馬場山金剛自治区会	会長	
9	木原三男	馬場山自治区会	会長	
10	石松暢明	香月東自治区会	会長	
11	酒井由美子	池田地区民生委員児童委員協議会	会長	
12	西嶋朋子	池田地区民生委員児童委員協議会	副会長	
13	渡邊和昭	池田校区老人クラブ連合会	会長	
14	北川尊士	池田小学校	校長	(代理) 中村教頭
15	神谷幸雄	池田市民センター	館長	
16	大迫清美	池田校区社会福祉協議会 ふれあいネットワーク	リーダー	
17	鈴木奈保美	池田校区社会福祉協議会	会計	



2 池田校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R6年10月11日(金)	第1回策定委員会 ・小地域福祉活動計画策定の意義と効果について
2	R6年11月8日(金)	第2回策定委員会 ・地域の良いところ、課題の共有
3	R6年12月13日(金)	第3回策定委員会 ・既存の活動を体系的に整理 ・基本理念の決定
4	R7年1月17日(金)	第4回策定委員会 ・既存の活動を体系的に整理① ・基本目標と重点実施項目の選定
5	R7年2月14日(金)	第5回策定委員会 ・既存の活動を体系的に整理② ・重点実施項目の年次計画について検討①
6	R7年3月14日(金)	第6回策定委員会 ・重点実施項目の年次計画について検討② ・計画書及び概要版の構成、編集について確認



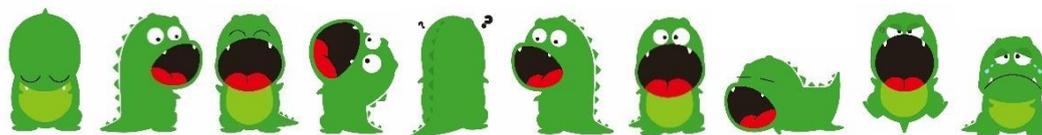
☆池田校区の活動のようす☆





池田市民センター 正面玄関

社会福祉協議会のイメージキャラクター プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)
Volunteer (ボランティア)
Saurus (ザウルス≡恐竜)



池田校区社会福祉協議会

〒807-1134 北九州市八幡西区茶屋の原 1-6-3 池田市民センター内
TEL 093-618-2188 FAX 093-618-2280

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351